

Title	前嶋信次先生著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1971
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.44, No.1 (1971. 11) ,p.115- 135
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19711100-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

前嶋信次先生著作目録

ロアゾー著 少年団概論(訳)

教育研究会

大正十三年七月

カスピ海南岸の諸国と唐との通交

史学雑誌三九—二二

昭和三年十二月

南海の島にて

イラ・フォルモサ

三年

鹿港の一日

アザミ

三年

木乃伊の物語

アザミ

四年

台北大学所蔵となりし故藤田博士、

竝にユアアル博士の旧蔵書に就いて

南方土俗一—一

六年二月

南支那蛮族の文化

南方土俗一—二

六年七月

雲南の塩井と西南夷(上、下)

歴史と地理二八—五、六

六年十一月、十二月

清朝の遺臣の家——福州に陳宝琛家を訪ふの記——(上、下)

台湾日日新報

七年三月十七、十八日

ゴレス攷(一、二、補正)

史学雑誌七一—三、五

七年三、五月

呉徳功氏と彰化県統志の著者

南方土俗一—四

七年四月

長崎名所図絵

南方土俗一—四

七年四月

老樹の昔語り

台南一中校友会報一四

八年

石卓奇談——兎玉將軍と曹公圳碑——

台南新報

九年一月一日

赤嵌探訪冊

愛書三

九年十二月

蒙古帝国の西征 ティムルと彼の帝国
ティムルの後裔 三汗国の興廢

世界歴史大系一〇(平凡社)
再録・全アジア歴史大系

十年十月
十五年

安平の石將軍 小南門上の旭日旗 二層行庄の一夜
——歴史館を觀て——

台南新報

十年十月三、五、十日

バ博士を憶ふ(上、下)

台南新報

十年十月十五、十六日

沈有容の碑に就て(上、中、下)

大阪朝日新聞(台湾版)

十年十月二十四、二十六日

バークレー博士のことども

台湾時報一九三

十年十二月

台南行脚(一、七)

台南新報

十一年一月七、十三日

巴克礼と宋忠堅(バークレーとファーガソン)(一、六)
——台湾近世史上の研究——

台湾時報一九五、二〇〇

十一年二、七月

日月潭の珠仔嶼

民族学研究二—二

十一年四月

四十年前の台南——ぴもだんの台南旅行記——

台南新報

十二年六月二十六日

初春訪古(一、五)

台南新報

十二年一月一、六、九日

北白川宮台南御入城史考

(パンフレット)

十二年三月

埋もれたる明末哀史の断章
——寧靖王墓附近より出土した品々に就いて——

台湾日報

十二年七月十五日

隨筆 支那(一、四)

台湾日報

十二年十一月六、九日

台南の古廟

科学の台湾六一・二

十三年四月

枯葉二三を拾ひて

愛書一〇

十三年四月

台湾の瘟疫神、王爺と送瘟の風習に就いて

民族学研究四—四

十三年十月

突騎施の戦歴——蘇祿伝——(その一、二)

回教圈一—四、六

十三年十、十二月

広東の文化

愛書・憎書 (一〜三)

吼門の落潮

台南の花 其他 (一〜四)

舎利別考

サラセン文学と物語師

十年前の福州 (一〜四)

ロティと澎湖島と天人菊

広西の文化

ビルマ文化史観

旅ゆく人々 (一〜六)

離愁 —— 台南を去る日 ——

ピエール・ロティ作 クールベール提督の死について (訳)

汎アラビズムの現状

アラビア民族史

文献蒐集の思い出

アラビヤ民族運動の黎明

タイ族文化の一面 —— その文字と関係文献について ——

台湾時報二〇一—一
再録・厦門広東海南島・南方文化経済研究 会十四年三月
十三年十一月

台湾日報
十三年十一月十八〜二十
日

台湾日日新報
十四年三月五日

台湾日報
十四年四月二十四〜二十
七日

回教圈二一六
十四年六月

回教圈二一六
十四年六月

台湾日報
十四年七月十三〜十六日

台湾風土記三 (日高山房)
十四年十一月

台湾時報二二一—一二
十四年十二月

新亞細亜二一—一
再録・南方亞細亜の文化 (新亞細亜叢書四)・大和書店
十五年一月
十七年十二月

台湾日報
十五年一月七〜十四日

台南新報
十五年五月二十六日

文芸台湾一—四
十五年七月

世界知識一三—九
十五年九月

丸岡出版社
十五年十二月

台湾時報二三—二
十六年二月

新亞細亜三一—二
十六年二月

日本タイ協会々報二三
十六年五月

トランスジョルダン国王 エミール・アブドルラー

新亜細亜三一六

十六年六月

援蔣ビルマルト附近の歴史——雲南ロロ族の話——

学生の科学二七—六

十六年六月

西南アジア回教圏の動向

世界知識一四—七

十六年七月

好日随想 アフリカ戦

読売新聞

十六年八月二十八日

泰の元寇

国際評論六一—〇

十六年十月

サウディアラビアと西南アジア

帝国大学新聞八七五

十六年十月二十七日

アラビア地理書の明代写本の存在に就いて

回教圏五一—〇

十六年十月

アラビヤ地域と欧州勢力

満鉄東亜経済調査局(編刊)

十六年十一月

台湾風物の回想(上、中、下)

台湾日日新報

十六年十一月六、八日

ビルマの元寇

国際評論六一—二

十六年十二月

中野英次郎著 アラビア紀行(書評)

新亜細亜四—一

十七年一月

南詔の文化(一、二、四)

日本タイ協会々報二六・二八、三〇

十七年二、五、八、十月

蒲生礼一著 イランの歴史と文化(書評)

新亜細亜四—四

十七年四月

ビルマ(大南洋民族誌 三)

世界知識一五—七

十七年五月

印度の民族と宗教——時局解説——

現地報告一〇—五

十七年五月

杜環とアル・クーフア

新亜細亜四—七

十七年七月

アラビヤ文苑中のインド

新亜細亜四—八

十七年八月

中央アジアの過去と現在(共著)(興亜全書九)

博文館

十七年十月

——支那古文獻に現れた西アジア事情の研究——

南洋に於けるアラビア移民

アラビヤ人と珈琲——民族文化的考察——(一、二)

アラビア人の飲食(講演要旨)

南洋におけるアラビヤ人——サラセンのミニアチュール——口絵(解説)

書燈 回教関係書

回教の発展(回教講座の二)

シリヤと砂糖——古代シリヤ人の文化的寄与——

金子健二著 東洋文化西漸史(書評)

マルデイヴ群島の産物——その東亜の文化に対する意義に就いて——

白い馬と灰色の牛 朱い木の実 水底の金貨

サラセン文化の東方への影響

回教圏に於ける政治と宗教

少女ジアサ

梵文法華経と南条文雄

パレスチナ問題

美しき師弟——マクス・ミュラーと南条、笠原——

シルヴァン・レヴィと日本ジャボン

井筒俊彦著 アラビア語入門(書評)

南洋経済研究五——一〇
再刊・南洋資料

新亜細亜五——三、四

民族学研究新——四

新亜細亜五——六

帝国大学新聞九五—

外交評論二三——一

新亜細亜五——二

新亜細亜六——四

新亜細亜六——一

大東亜民話集(朝日文庫
朝日新聞社)

新歴史一

新歴史四

三田文学二—

大法輪一五——一

アジアの政治と経済(社会書房)

大法輪一六——一〇、一七——二

大法輪一七——七、一一

史学二五——一

十七年十月

十八年三、四月

十八年五月

十八年六月

十八年六月二十八日

十八年十月

十八年十二月

十九年四月

十九年十一月

二十年三月

二十一年六月

二十三年六月

二十三年九月

二十三年十一月

二十四年一月

二十四年十月、二十五年
二月

二十五年七月、十一月

二十六年七月

高楠順次郎

アガーニーの書——アラビアの名著——

忽必烈枢密副使博羅考

アジア理解の手引書 中東

空海入唐記

中東地域の民族的生態

泉州の波斯人と蒲寿庚

荒廢したエデンの園——中東アラブ諸国の独立をめぐる——

媽祖祭

玄奘三蔵——史実西遊記——(岩波新書)

泉州の蒲氏勃興の年代について(講演要旨)

イスラムの土地制度——ダッタの「インド地主制度」を読んで——

元末の泉州と回教徒

元代の哈的大師について(発表要旨)

イスラム教

丹羽友三郎著 元代における中国・ジャバ交渉史(書評)

イラク・シリア・アラビア・エジプト(訳)

イブン・バットウータ 三大陸周遊記(訳)

大法輪一八一七—一〇

図書二四

和田博士 東洋史論叢(講談社)
還曆記念

日本読書新聞六一八

大法輪一八一—一九—五

世界経済六一—二

史学二五—三

改造三三—七

三田文学四二—四

岩波書店

史学雑誌六一—二二

新アジア三

史学二七—一

史学雑誌六一—二二

毎日ライブラリー宗教

史学雑誌六三—二

世界民話全集六(河出書房)
近 東 篇

河出書房

再刊・角川文庫
抄録・世界ノンフィクション全集三五

二十六年七月十月

二十六年九月

二十六年十一月

二十六年十一月七日

二十六年十一月—二十七年五月

二十六年十二月

二十七年三月

二十七年五月

二十七年六月

二十七年七月

二十七年十二月

二十七年

二十八年十二月

二十八年十二月

二十九年一月

二十九年二月

二十九年六月

二十九年八月

三十六年六月
三十七年十月

マホメット

ジングスカン (少年少女新伝記文庫二十四)

ルネ・グルッセ著 アジア史 (訳文庫クセジュ)

The vicissitudes of the Moslem power and their consequences on the history of intercourse between the West and the East

イスラムとアジア民族

イブン・バットウターとくにイスラム商人の活動を中心として

バグダードの文化とその滅亡 (上、下)

イスラムの思想とコーラン

西アジア史 (編・著) (世界各国史十一)

序説 セム族世界 エジプト

西アジアの歴史 (共) 西アジアの宗教

明末耶蘇会士活動の一断面——艾儒略と何喬遠の交友——

サラセン文化 (アテネ文庫)

西アジア 総説 歴史 (分担執筆)

甲斐路・駿河路

中東民族主義の裏づけ

聖都エルサレム——十字軍とサラディン王——

現代宗教講座 一
人はなぜ宗教を求めるか (創文社)

金子書房

白水社

二十九年十月

二十九年十二月

三十年一月

三十年三月

三十年三月

三十年四月

三十年四、九月

三十年四月十七日

三十年六月

世界文化地理大系 一
西アジア (平凡社)

三十年八月

歴史教育 三一八

三十年八月

弘文堂

三十年十月

世界歴史事典 二三
史料篇 東洋 (平凡社)

三十年十月

再刊・東洋史料集成

三十一年一月

山梨日日新聞

三十一年一月二十八日

日本及日本人再刊 七一五

三十一年五月

世界史物語 三
西洋のあゆみ (河出書房)

三十一年七月

回教の発展

「アラビアンナイト」を語る (座談会 アジア文化を語る 三)

ダマスクスのフランス研究所よりの寄贈文献 (書評)

アフリカ探検史 エジプト

ペルシア・アラビア編

イスラム史は書き改むべきか——西欧的史観に対する批判——

ナイルの子等の思潮

私の年賀状

アラブ・ナシヨナリズムの展開

日持上人の大陸渡航について

——宣化出土遺物を中心として——(上、中、下)

世界史におけるイスラム

西南アジアアフリカ総覧 (共編・分担執筆)

イスラム (歴史・文化と芸術) イテーク

黄巢の乱についてのアラビア語史料の価値

回教文化

閩書と閩書抄

アラビア史と外来文化

アラビア史

東西交渉史シンポジウム——一九五七年十月～十一月——

歴史教育四一八

三十一年八月

近代文学一一一八

三十一年八月

史学二九一二

三十一年八月

世界文化地理大系二三 (平凡社)

三十一年九月

毎日ライブラリー 東洋の名著

三十一年九月

世界史講座 八 (東洋経済新報社)

三十一年十二月

世界史の理論と教育 (東洋経済新報社)

三十一年一月

日本及日本人再刊八一

三十二年一月六日

山梨日日新聞

三十二年二月

アジア問題六一二

三十二年三月、七、十二月

思想三九五

三十二年五月

国際日本協会

三十二年五月

中東研究一一一

三十二年十月

毎日ライブラリー 東洋と西洋

三十二年十一月

神田博士 還暦記念 書誌学論集 (平凡社)

三十二年十一月

アジア・アフリカ評論七

三十二年十一月

修道社

三十三年一月

歴史評論九二

三十三年一月

アラビアの予言者——マホメット——

毎日宗教講座 二 (毎日新聞社)
人間の幸福と自由

三十三年二月

蛮族の娘と天子——明朝哀史——

三色旗 一九

三十三年二月

井筒俊彦訳 コーラン (書評)

三田評論 五七五

三十三年二月

ターハー・フサイーン——エジプトの塙保己一——

歴史教育研究 七

三十三年三月

アラブの新時代

月報三一五 (産経倶楽部)

三十三年五月

アイニ一の自叙伝「ブハーラー」

中東研究 一—三

三十三年六月

サラセン文化の諸問題——特にその世界観を中心として——

文化講演集 (千葉大学)

三十三年九月

イスラムにおける婚姻制

中東研究 一—四

三十三年十月

千夜一夜物語の世界

文庫 八五

三十三年十月

タラス戦考 (序章・本章)

史学三一—一—四、三二—一

三十三年十一月、三十四年四月

オリエント 一 (図説世界文化史大系四) (共編・分担執筆)

アラビア文学 角川書店

三十三年十二月

序章 マホメット時代 砂漠の生活 バグダードの繁栄

研究論文集 一〇 (文科系学会連合)

三十三年十二月

Travels of a Japanese buddhist priest in the 13th century to Yuan China

西洋史物語 二 (河出書房新社)

三十三年十二月

マホメットとハールーン・アル・ラシード

ニーベルンゲンの歌 (河出書房新社)

三十三年十二月

タシケントと寶石

群像 一三一—二

三十三年十二月

タラスの戦に関する東西史料の齟齬について (発表要旨)

史学雑誌 六七—一二

三十三年十二月

西アジア史講座 イスラム時代 (一—四)

世界史の研究 一九—二二

三十四年一—四月

蕃薯讃歌

三色旗 一三二

三十四年三月

アラビア史料中の中国 (講演要旨)

集刊東洋学一

三十四年五月

福州の秋

世界紀行文学全集二一 (修道社)
中国編一

三十四年五月

嘉慶道光間台湾県学教諭 鄭兼才年譜

文史薈刊一

四十六年五月(再)
三十四年六月(民国四十八年)

アッバース朝とイラン・中央アジアのイスラーム化
バのウマイヤ朝 北アフリカのイスラーム政権 モンゴル
の侵入とカリフ政権の終末 イスラーム文化

世界史大系七 (誠文堂新光社)
イスラーム

三十四年六月

八幡の思い出

山人会報八

三十四年七月

漢民族のオリエント起源説

日本オリエント学会月報二一八

三十四年八月

イスラーム関係文献目録——日本語の部——(書評)

日本オリエント学会月報二一九

三十四年九月

Evaluation des sources Arabes concernant la révolte de Huang Ch'ao à la fin
des T'ang International Symposium on History of Eastern and Western Cultural Contacts,
Japanese National Commission for UNESCO

三十四年十一月

浮世床史学——十八世紀シリアの珍籍——

史学三二一三

三十四年十一月

世界史(高等学校教科書)(共著)

実教出版

三十五年一月

世界史指導書(分担執筆)

国姓爺の使者

三色旗一四三

三十五年二月

ヤアクービーの年代記から(一)

遊牧社会史探求三
再録・内陸アジア史論集(大安)

三十五年三月
三十九年十一月

世界的視野から見た日本史——日本史と世界史との関連——

中等教育講座(好学社)
社会科編

三十五年三月

アラブ連合共和国(監修)

駐日アラブ連合大使館文化部

三十五年六月

中東文学

玉川百科大辞典一六 (誠文堂新光社)
西洋文芸

三十五年七月

幸福なアラビア

図説世界文化史大系三
オリエント一 (角川書店) 三十五年九月

宗教 (共)

新世界地理二 (朝倉書店)
アジア総論 三十五年十月

ムフアッダル編 アル・ムフアッダグリヤート 古代アラブ詩選 (抄)
アーベリー編 現代アラブ詩集 (抄) (訳)

世界名詩集大成一八 (平凡社)
東洋抄録・世界名詩集 (世界名作全集別巻) (平凡社) 三十五年十月

Marco Polo's Forerunners to the Court of Gubilai Khan

Orient vol. 1 三十五年十一月

アフリカの歴史・文化・社会

現代地理学体系三 アジア アフリカ二 (古今書院) 三十六年一月

ゴーレスについて

和田博士 東洋史論叢 (講談社) 古稀記念 三十六年二月

イスラム教

玉川百科大辞典一二 (誠文堂新光社) 哲学・宗教・道徳 三十六年二月

アラブ諸国の社会経済機構 総論

調査研究報告叢書一二 (アジア経済研究所) 三十六年三月

米国シカゴにて——海外だより——

三田評論五九二 三十六年三月

正統カリフとその時代 アラビアンナイトの誕生

世界の歴史 七 (筑摩書房) イスラム文化の発展 三十六年四月

蕃薯頌

島田謹二教授還暦記念論文集 比較文学比較文化 (弘文堂) 三十六年七月

米国プリンストンにて——海外だより——

三田評論五九五 三十六年七月

シリアの政変

三田新聞九三三 三十六年十一月三十日

マルコ・ポーロの家

文芸春秋四〇一二 三十七年二月

ネビア・アボット著 アラビア語文学関係パピルス文書の研究 (書評)

オリエント五一 三十七年三月

ジョーフをおもう——アラビアの上空にて——

サウディアアラビア五 三十七年三月

解説(イブン・バットウータ 三大陸周遊記 ほか)

アルジェアの独立とイスラム教

玄奘・ゲンゾウの弁

ドンキホーテの村

マルコ・ポーロの故郷

イスラムの文化圏——回教の文化——(世界史新書)

ヨーロッパひとりある記 フランス・スペインの旅(一〜八)

砂漠の魔力^{スベル}

ブノアメシャン著 伊野鶴代訳 砂漠の豹イブン・サウド(書評)
牟田口義郎

コルドバ懐古

オスマントルコとアラビア半島

——特に今世紀初期の情勢を中心として——

イスラム美術に見える自動機械

イラクの千年祭

ヤアクビー年代記中のチュルク族(完結)

バグダードの運命——イラクの政変を見て——

P・K・ヒッティ著 小玉新次郎訳 シリア——東西文明の十字路(書評) 図書新聞

西南アジア(一九六二年の歴史学界——回顧と展望——)

世界ノンフィクション全集三五(筑摩書房) 三十七年三月

毎日新聞 三十七年四月二日

日本絵巻物全集月報一二(角川書店) 三十七年四月

三色旗一七〇 三十七年五月

少年ノンフィクション全集 月報一一(講談社) 三十七年六月

至文堂 三十七年七月

歴史教育研究二四〜三一 三十七年七月、十月、二十
八年一、四、七、十月、
三十九年二月

世界教養全集月報二六(平凡社) 三十七年八月

朝日ジャーナル四一三八 三十七年九月二十三日

高校教育一四一一 三十七年十一月

英修道博士還暦記念論文集(慶応) 三十七年十一月

外交及び国際政治の諸問題(通信)

世界美術全集月報二二(角川書店) 三十七年十一月

オリエント五―三・四 三十七年十二月

遊牧社会史探求二一 三十八年三月

再録・内陸アジア史論集(大安) 三十九年十一月

産業新聞 三十八年三月八日

史学雑誌七二―五 三十八年三月九日

史学雑誌七二―五 三十八年五月

二人の女王の運命——イスラム世界の一面——

解説（ペイヤール マゼランの世界一周ほか）

永井荷風とカラマズー

長崎のお菊さん

アッラーの属性について

斎藤栄三郎著 イスラムの社会思想（書評）

レーンプール バルバリア海賊盛衰記（訳）

編集のあとがき

テリアカ考

——文化交流史上から見た一薬品の伝播について——（一〇三）

大秦国の妙薬 ——底也伽について——（講演要旨）

笛吹川の水清く

アラビアン・ナイトの内と外

香山陽坪著 砂漠と草原の遺宝

ボリス・ジューコフ著 湖底に消えた都（書評）

西アジア（編輯指導）

イスラム教の話

鄭芝竜招安の事情について

アフリカの歴史——人類の一翼をになう暗黒の大陸——

高校教育一六一六

世界ノンフィクション全集四五（筑摩書房）

三田評論六一七

三色旗一八六

オリエント六一二

朝日新聞

世界ノンフィクション全集四八（筑摩書房）

イスラム世界一

史学三六一四、三七一三、三八一四

東洋文庫年報昭和三十七年度

同窓だよ一（日川高等学校同窓会）

世界文学大系月報七五（筑摩書房）

週刊読書人五一〇

世界地理風俗大系一二（誠文堂新光社）

あちらのくらし三一三

中国学誌一

世界地理風俗大系一三（誠文堂新光社）

アフリカ

（誠文堂新光社）

三十八年六月

三十八年七月

三十八年七、八月

三十八年九月

三十八年十月

三十八年十月十四日

三十八年十一月

三十八年十一月

三十八年十二月、三十九年十一月、四十一年三月

三十八年十二月

三十八年

三十九年一月

三十九年一月

三十九年一月二十七日

三十九年二月

三十九年三月

三十九年五月

三十九年六月

三十九年六月

マンデヴィル著 大場正史訳 東方旅行記 (書評)

週刊読書人五三〇

三十九年六月十五日

ジャーヒズとそのけちんぼ物語

イスラム世界二

三十九年七月

日本におけるイスラム学の歩み (座談会)

イスラム世界二

三十九年七月

あとがき

イスラム世界二

三十九年七月

ジャーヒズ けちんぼども (訳)

世界文学大系 六八 (筑摩書房)
アラビアペルシア集

三十九年八月

レバノンの宗教事情

中東通報一〇五

三十九年八月

香山陽坪著 砂漠と草原の遺宝—中央アジアの文化と歴史—(書評)

オリエント七一

三十九年九月

この夏の思い出 野尻湖畔のクリルタイ

歴史教育研究三三

三十九年十月

イスラム研究の叢書—「ギップ記念叢書」など—

日本歴史叢書月報一〇 (吉川弘文館)

三十九年十月

還暦の辞

巨人ヶ原一八 (碧榕会)

三十九年十月

十字軍とサラデインの復讐

高二コース一〇—八

三十九年十一月

研究室・書齋

三色旗二〇〇

三十九年十一月

あとがき

イスラム世界三

三十九年十二月

日川橋のほとり—長谷川校長先生をしのびて—

長谷川駸栄言行録

四十年

巳の年

毎日新聞

四十年一月十六日

イスラムの神秘主義と仏教—ガザリーの生涯を中心として—

東洋学術研究四—一〇

四十年二月

イスラム時代

世界文化シリーズ二二 (世界文化社)
西南アジア

四十年五月

アラビアの医術 (中公新書)

中央公論社

四十年五月

ジュバイハーヤギをかえしておくれ(訳)

世界史の教室(上、下)(共編・分担執筆)

さばくを駆ける夢と冒険——アラビアン・ナイトの世界——

山村の漢方医家

安史の乱時代の一二の胡語

ラバト訪古

大航海時代叢書 第一卷(書評)

東西交通史料としてのアル・マッカリーの史書

——十一世紀スペインのアラブ人の中国渡来記録——

人生のチャンス

自著紹介 アラビアの医術

イスラム世界の役割

私のライフワーク「アラビアンナイト」の原典訳

修学旅行の思い出

West Asia and the Islamic World Japan at the Xlth International Congress of
Historical Science in Vienna, Japanese National Committee of Historical Science

東南アジアのイスラム文化

アラブのアジャブ

わが師 藤田豊八先生

少年少女新世界文学全集(二二)
アジアアフリカ篇 (講談社)

古川弘文館

高二コース二—四

からだの科学四

石田博士頌寿記念東洋史論叢

中東通報二—七

図書新聞

イスラム世界四

三田評論六—四

歴史教育研究三七

ENERGY二—四

図書新聞八—三

同窓だよ三

四十年五月

四十年六月

四十二年五月

四十年七月

四十年七月

四十年八月

四十年八月

四十年九月

四十年九月

四十年十月

四十年十月

四十年十月三十日

四十年十一月

1965

四十一年二月

四十一年五月

四十一年六月十一日

- アラビアン・ナイト(一)(訳)(東洋文庫)
地球を支配した大帝国の過去 イベリアの歴史
——その栄えと哀愁と——
- アラビアン・ナイト(二)(訳)(東洋文庫)
- 西遊記と水滸伝(鼎談)
- 名僧日持の行方
- 西アジア・イスラム(日本における歴史学の発達と現状Ⅱ)
- 千一夜物語に夢をかけて
- アルフ・ライラ・ワ・ライラの成立時代
- アラビアン・ナイトを訳してみて
- イスラム史に席を(巻頭言)
- アラビアン・ナイト(三)(訳)(東洋文庫)
- アラビア夜話の原典さまざま
- アラビアン・ナイトの魅力
- 三橋富治男著 オスマン・トルコ史論(書評)
- 私のふるさと
- キャンパスの春
- アラビアとネジド馬
- イスラムの近代思想家とジャーナリズム
——特にアラブ世界の場合——
- 平凡社
これが新しい世界だハ
スペイン・ポルトガル(国際情報社)
- 平凡社
歴史よもやま話四 東洋(文芸春秋社)
- 文芸春秋四四一〇
東京大学出版会
サンケイ新聞
慶応義塾大学言語文化研究所第二部
第三回研究総会における報告(四)
三色旗二二五
歴史教育研究四二
平凡社
三田文学五四一
三田評論六五七
週刊読書人六六一
慶応通信二二八
塾五一一
サウディアラビア二二
東洋学術研究六一二
- 四十一年七月
四十一年八月
四十一年八月
四十一年十月
四十一年十月
四十一年十一月
四十一年十一月十八日
四十一年十二月
四十一年十二月
四十二年一月
四十二年二月
四十二年二月
四十二年二月
四十二年二月六日
四十二年三月
四十二年四月
四十二年四月
四十二年五月

メソポタミア文学

アラビアン・ナイト(四)(訳)(東洋文庫)

死に急ぐなかれ

旅

千一夜物語——アラビアン・ナイトの翻訳出版——

スペインのモーロとフィリピンのモロ族

イスラエル人とアラブ族

中近東史

セルジュークから見た十字軍

わが読書遍歴

交遊抄 壁ごしの日本語

香港——その背景と現実——(対談)

書棚 東洋史

アラビアン・ナイトの史料的价值

元代戦象考

イスラム思想

中世西アジア人のインド洋通商(講演要旨)

アラビア医学と中国医学——文化交流史から見て——

東京新聞・中日新聞

平凡社

クリティック一六

週刊新聞二二—二三

国民百科五七

近江の春(実教の日本史世界史)

サンケイ新聞夕刊

高三コース

NHK学校放送(四二年一学期)
高等学校

塾 五—五

日本経済新聞

三田評論六六五

三色旗二二六

教室の窓九九

史学四〇—二・三

現代教養百科事典五
思想(曉教育図書)

史学雑誌七六一—二二

東洋学術研究六一三

四十二年五月二十一日

四十二年六月

四十二年六月

四十二年六月十日

四十二年六月

四十二年六月

四十二年六月十五日

四十二年七月

四十二年九月

四十二年十月

四十二年十月十三日

四十二年十一月

四十二年十一月

四十二年十一月

四十二年十一月

四十二年十一月

四十二年十二月

四十三年一月

桑原博士と藤田博士

桑原隲藏全集月報二(岩波書店)

四十三年三月

ヌーリー・シャアラーンと佐原大佐

オリエント九一四

四十三年三月

アフマド・アミーンについて

「イスラム化」にかんする共同研究報告
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

四十三年三月

対立するアラブ諸国——その背景と現状——

時事教養四〇五

四十三年三月

序(松本信広著 東亜民族文化論攷)

誠文堂新光社

四十三年三月

田中萃一郎訳補 ドーソン蒙古史(塾の古典)

慶応義塾大学報一一

四十三年四月

入門書のしるべ イスラム

日本経済新聞

四十三年四月一日

アラビア(中近東の文学)

現代教養百科事典九
文学 (曉教育図書)

四十三年四月

バグダードとコルドバ

NHK学校放送
高等学校 (四三年一学期)

四十三年四月

エメンの歴史と社会

中東通報一五〇

四十三年五月

アッバース朝の盛時(イスラム講座四)

イスラム世界六

四十三年五月

アフガニスタンのユダヤ教徒コロニー

オリエント一〇一・二

四十三年五月

アララの使徒ムハンマド

目で見える大世界史六
宗教のあゆんだ道 (国際情報社)

四十三年五月

東洋医学の系統 アラビアの奇薬

新評一五一七

四十三年七月

大学における研究の自由

塾六(特別号)

四十三年八月

アラビアン・ナイト(五)(訳)(東洋文庫)

平凡社

四十三年十一月

サハラ塩金貿易とアザライ(隊商)

遊牧社会史探求三四

四十三年十一月

西アジアの女たちのヴェイル

オリエント一〇一三・四

四十三年十一月

イスラムの学問　イスラムの科学と技術

峽東二日の旅

イスラム世界（世界の歴史八）

イスラムの世界（世界の文化史蹟十）（編・分担執筆）

イスラム文化の流れと特質　風土としての砂漠

マルコ・ポーロとアレクサンドロス伝説（一）

アラビアン・ナイト——ハールーン・アル・ラシード——

イスラム文化と東西交渉

マホメットの誕生

東洋史（専門課程への指針）

千夜一夜物語

中央アジア——旅の印象——

イスラムの都市風景

砂漠の宗教国家イスラム

宗教と社会の融合・イスラム

イスラム文明の西漸

草原の王者スキタイ文化とシルクロード

アフリカサバンナの黒人帝国

世界史シリーズ九（世界文化社）

イスラム世界

河出書房

講談社

アッバース朝とバグダード　レコンキスタ

史学四一—四

NHK学校放送（四四年一学期）

世界歴史の旅　五（小学館）

西アジアとイスラムの国（小学館）

世界の歴史六（東京新聞サンデー版）

アラブの拡大（中日新聞サンデー版）

三色旗二五六

世界の歴史一（東京新聞サンデー版）

アラブの拡大（中日新聞サンデー版）

三田評論六八五

世界の旅　四（河出書房）

トルコ・西アジア（河出書房）

目で見ると大世界史二（国際情報社）

国家と支配者たち（国際情報社）

目で見ると大世界史一（国際情報社）

集団は社会を生む（国際情報社）

岩波講座世界歴史八

中世　二（岩波書店）

民族文化五—三

世界の歴史一〇（東京新聞サンデー版）

大航海と新発見（中日新聞サンデー版）

四十三年十一月

四十三年十一月

四十三年十二月

四十四年二月

四十四年三月

四十四年四月

四十四年六月

四十四年六月二十二日

四十四年七月

四十四年七月六日

四十四年八・九月

四十四年八月

四十四年八月

四十四年九月

四十四年十月

四十四年十月

四十四年十一月十六日

六・七世紀 (日本と世界の歴史四) (共編・分担執筆)

宗教と国家形成 (座談会) 六・七世紀のアジア 大唐西域記

八世紀 (日本と世界の歴史五) (共編・分担執筆)

タラス河畔の戦い

唐文化とイスラム文化

九世紀 (日本と世界の歴史六) (共編・分担執筆)

東西文化圏の交流 (座談会) 千夜一夜物語

歴史 — 東西交渉史 — (共著)

卒業論文 (父兄のための一冊の本)

世界史教育と中世のイスラム世界・ヨーロッパ世界

イスラム教の成立 — マホメット —

わが愛蔵書 シンドバードの「航海物語」

古代とアラビアの医療

佐藤春夫における東洋と西洋 (対談)

コーランとマホメット (鼎談)

トルコ民族とイスラム世界 — 王者と奴隷 —

アラビアンナイトの世界 (現代新書)

グラナダとアルハンブラ

玄奘の辿った道

— 序にかえて — (青柳健著 玄奘三蔵の道を歩く)

学習研究社

四十五年一月

学習研究社

四十五年二月

東洋学術研究八―四

四十五年二月

学習研究社

四十五年三月

NHK 大学講座

四十五年四月

塾 八―二

四十五年四月

新しい世界史像の探求 (中教出版)
高等学校世界史教育講座二

四十五年四月

NHK 学校放送
高等学校 (四五年一学期)

四十五年四月

読売新聞

四十五年五月十五日

目で見ると大世界史一五
必要が生んだ発明・科学 (国際情報社)

四十五年七月

三田評論六九六

四十五年八・九月

世界の名著一五コーラン
附録四五 (中央公論社)

四十五年九月

週刊 朝日ゼミナール二〇

四十五年十月

講談社

四十五年十月

並 河 一 万 里 著
アルハンブラ宮殿 (講談社)

四十五年十一月

芙蓉書房

四十五年十一月

十字軍と東西文明の交流

西域史の御講義

東西文化交流の諸相

ハッティーンの決戦

アラブ諸国とイスラエル

人生のことば

——刻々と死への歩み——
(イブン・アル・ムウタツズの詩)

私と外国語

随筆「中国の風物」

「千夜一夜物語」の世界

アラビアとイスラム文明

楊貴妃と長脇差

イスラム文化——バグダード——

アルハンブラ宮殿の落日

アラビア史(増補再版)

イスラム教の戦争観

東西文明の交流 三 (平凡社)

イスラム帝国の遺産

白鳥庫吉全集月報九(岩波書店)

東西文化交流の諸相刊行会

軍事史学六一四

霞山(第四五号)

読売新聞
(宗教欄)

慶応通信

三田評論

世界文化社トラベルブックス第十七卷
「アラビアの旅」

中日新聞社
(中日ゼミナール特別講座オリエントの
歴史)

三田文学ライブラリー
「奥野信太郎回想集」

NHK学校放送 高等学校

中央公論社
(歴史と人物創刊号)

修道社
(世界歴史叢書)

軍事研究

四十五年十二月

四十六年二月

四十六年三月

四十六年二月

四十六年二月

四十六年三月二十八日

四十六年四月一日

四十六年五月

四十六年五月

四十六年五月

四十六年六月

四十六年八月

四十六年九月

四十六年九月

四十六年十月